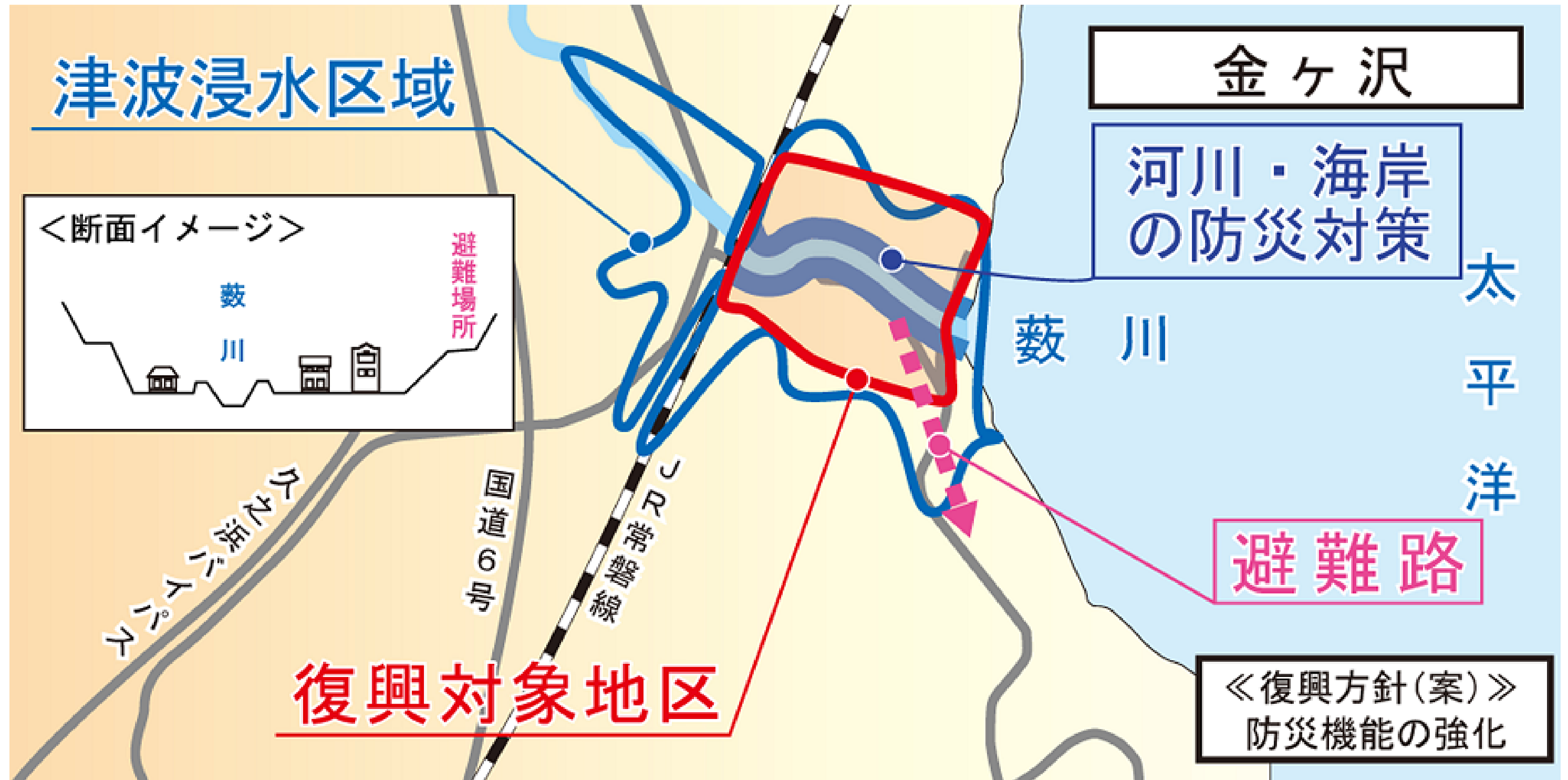


【金ヶ沢地区における復興イメージ図（一例）】

- * 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。
- * 現時点で決定したものではありません。



＜金ヶ沢地区復興イメージ(案)＞

- ・ 建物の被害程度が大きくなっていますが、避難路の確保や河川・海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 移転を希望する世帯は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【久之浜市街地における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



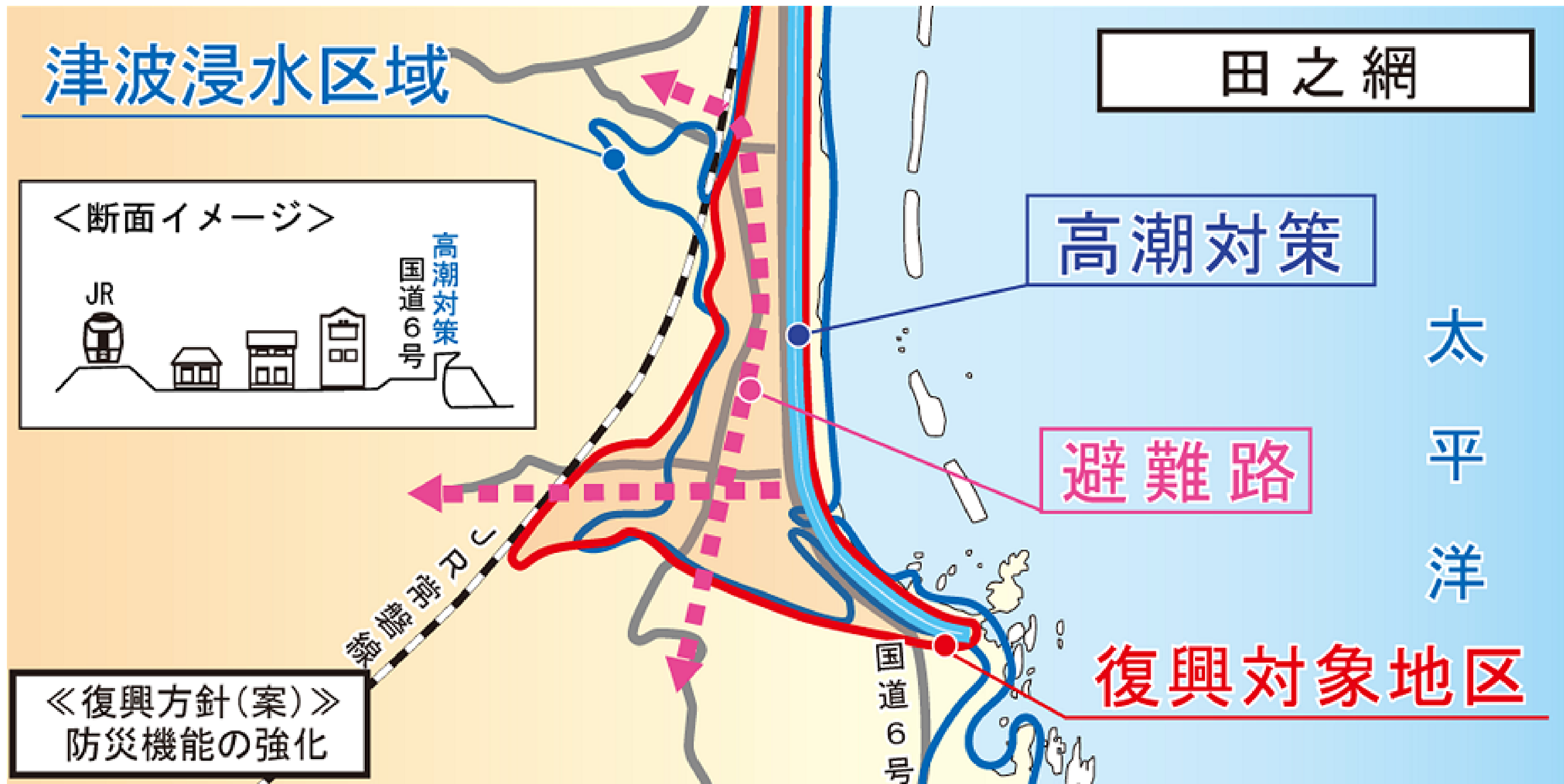
<久之浜市街地復興イメージ(案)>

- ・ 建物の被害程度の大きかった海側（海から旧道）の地区については、周辺地域への移転を基本に考えています。跡地には防災緑地を配置するとともに、防災道路を整備し、津波に対する安全対策を図り、河川・海岸の防災対策を併せて検討します。
- ・ 陸側（旧道から国道6号）の区域については、現在地における復興を基本とし、避難路となる道路空間の確保・整備を検討します。
- ・ 商業・業務機能（水産加工施設、製造業の工場など）については久ノ浜駅前地区への集約化等による復興を検討します。

【田之網地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



＜田之網地区復興イメージ(案)＞

- ・ 高潮対策、避難路の確保などの防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 移転を希望する世帯は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【四倉地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



＜四倉地区復興イメージ(案)＞

- ・市街地部分は、国道沿いなど海岸に近いほど建物の被害程度が大きいです。全体に流出は免れており、同じ場所または地区内での再建を望む割合が高く、四倉地区の中心をなす部分としてその機能の復興が望まれることから、津波に対する防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・四倉漁港との関係が深い地区であり、「道の駅よつくら港」を復興のシンボルとして、海岸部と一体的に捉えた地区の復興を図ります。
- ・市街地内では、内陸方向へ向かう道路の拡幅などによる避難路の確保に努めます。

＜四倉地区復興イメージ(案)＞つづき

- ・防災対策としては、避難路の確保や港湾施設及び河川・海岸の整備を図るとともに、国道6号とそれに接続する県道豊間四倉線を防災道路として整備し、かつその海側は一定の高さを持つ防災緑地として津波の減勢効果を持たせます。
- ・市街地の住宅や事業所の再建については、現在地における個別の建て替え等を基本としますが、可能な部分では構造を強化したビル化等による安全度の向上を促進します。
- ・仁井田地区を含む県道豊間四倉線より海側の一帯は被害程度が大きく、移転を基本とし、跡地を含めた一帯を一定の高さを持った防災緑地として検討します。
- ・防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、事業所なども含め建物の性格や立地条件が多様であることから、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。
- ・沿道サービス系の事業所は、四倉市街地に近い道路沿いの部分への集約立地を誘導します。

【沼ノ内地区における復興イメージ図（一例）】

※意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

※現時点で決定したものではありません。



＜沼ノ内地区復興イメージ(案)＞

- ・ 県道豊間四倉線沿いの海岸に近い建物の被害程度が大きいです。全体に流出は免れており、避難路の確保や河川及び海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 県道豊間四倉線を防災道路として整備し、その陸側は一定の高さを持つ防災緑地として津波の減勢効果を持たせます。
- ・ 防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【薄磯・豊間地区における復興イメージ図（一例）】

- * 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。
- * 現時点で決定したものではありません。



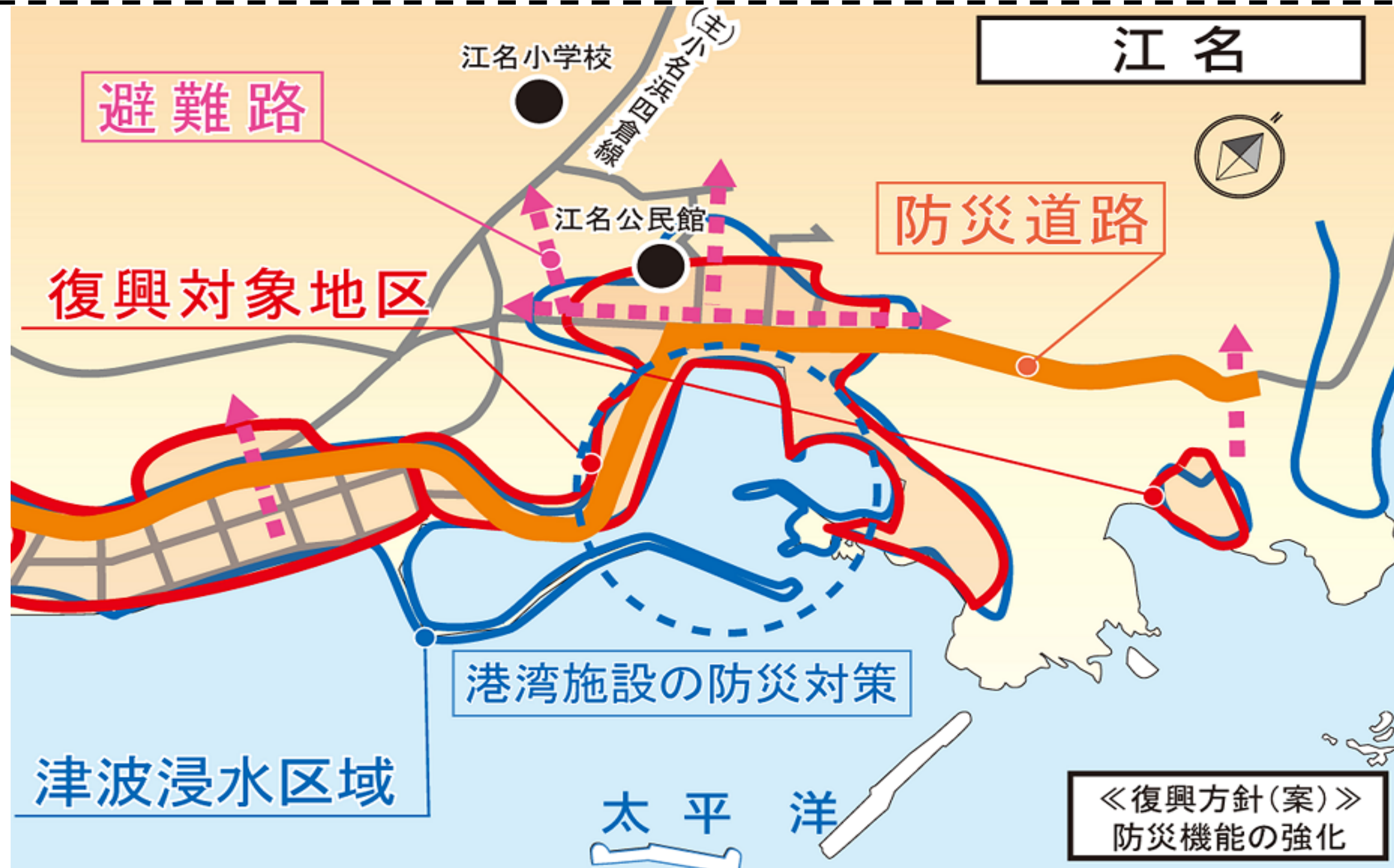
＜薄磯・豊間地区復興イメージ(案)＞

- 山林丘陵地の裾野を除いてほぼ全域全壊流出しており津波被災地で最も被害が大きい地区の一つとなっています。
- 両地区ともに市内で人気を誇る海水浴場として多くの市民が訪れる観光地であり、今後も塩屋埼灯台とともに海浜レクリエーション地域としての復興が望まれます。
- 海岸堤防の整備と合わせて、県道豊間四倉線を防災道路として整備し、その陸側は一定の高さを持つ防災緑地として津波の減勢効果を持たせます。
- 多重防御策により、津波の減勢効果を図ることで、防災性を高め、現在地に復興することを検討します。
- 両地区ともに地区内の道路は幅員が狭く、入り組んでいることから津波被災時の安全性を上げるため、土地区画整理事業などにより土地や道路の再編・整備を行い、都市基盤施設が整った街並みにすることを検討します。
- 防災拠点となる公共公益施設については薄磯、豊間地区の間の山林丘陵地に集約することを検討します。
- 防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【江名地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



＜江名地区復興イメージ(案)＞

- ・ 走出地区（サザンパシフィックホテル下）は、被害程度が大きいことや地形的に避難ルートの確保が困難なことから、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。
- ・ 江名港周辺地区の可能な部分では、構造を強化したビル化等により安全度の向上を促進します。
- ・ 江名港周辺地区は、海と港との関わりが強く、大半の家屋が流出を免れており、現在地での再建を望む割合が高いことから、避難路の確保や河川・海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。

【折戸・中之作地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



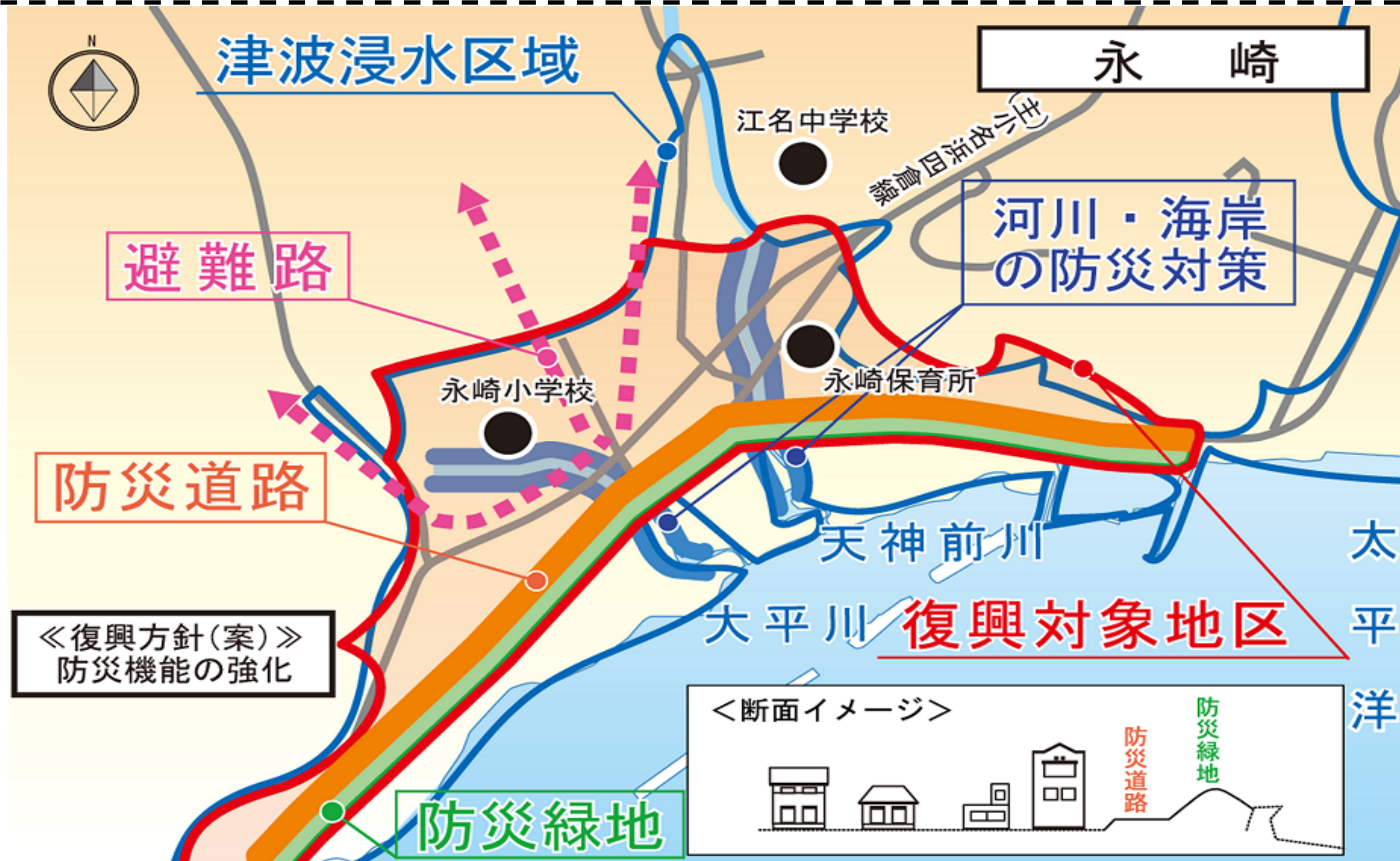
<折戸・中之作地区復興イメージ(案)>

- ・ 港との関わりが密接な地区で、水産加工業者も多く、現在地での再建を望む割合が半数以上あることから、防災道路及び避難路の確保並びに港湾施設及び海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 移転を希望する世帯は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。
- ・ 可能な部分で構造を強化したビル化等により安全度の向上を促進します。

【永崎地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



〈永崎地区復興イメージ(案)〉

- ・ 大部分の家屋が流出を免れており、約6割が現在地も含めた永崎地区内での居住を希望していること等から、防災道路、緑地及び避難路の確保並びに河川・海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【下神白地区における復興イメージ図（一例）】

※意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

※現時点で決定したものではありません。



＜下神白地区復興イメージ(案)＞

- ・ 海岸部や神白川の河口部では、建物の被害程度が大きくなっていますが、そのほかは、居住を続けている家屋も多いため、防災道路、緑地及び避難路の確保並びに河川・海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。
- ・ 可能な部分で構造を強化したビル化等により安全度の向上を促進します。

【小浜地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



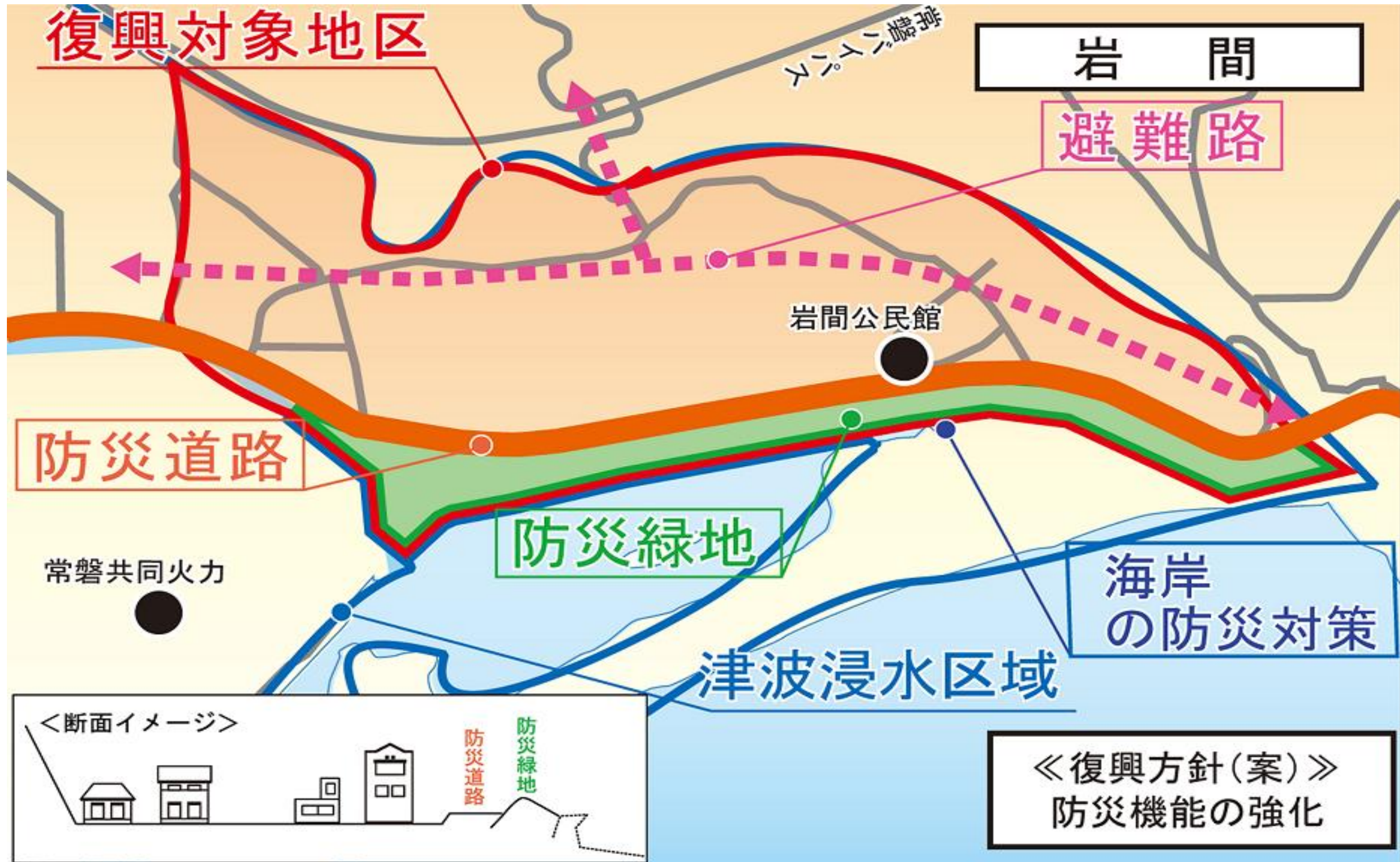
＜小浜地区復興イメージ(案)＞

- ・ 渚地区での建物の被害程度が大きいですが、そのほかには居住を続けている家屋も多いため、河川・海岸及び港湾施設の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、津波から既成市街地を防御します。
- ・ 既成市街地は避難路等、防災性を高める整備を検討します。
- ・ 県道南側ゾーンは港を活用した産業系機能誘導などにより、活性化を図ります。

【岩間地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



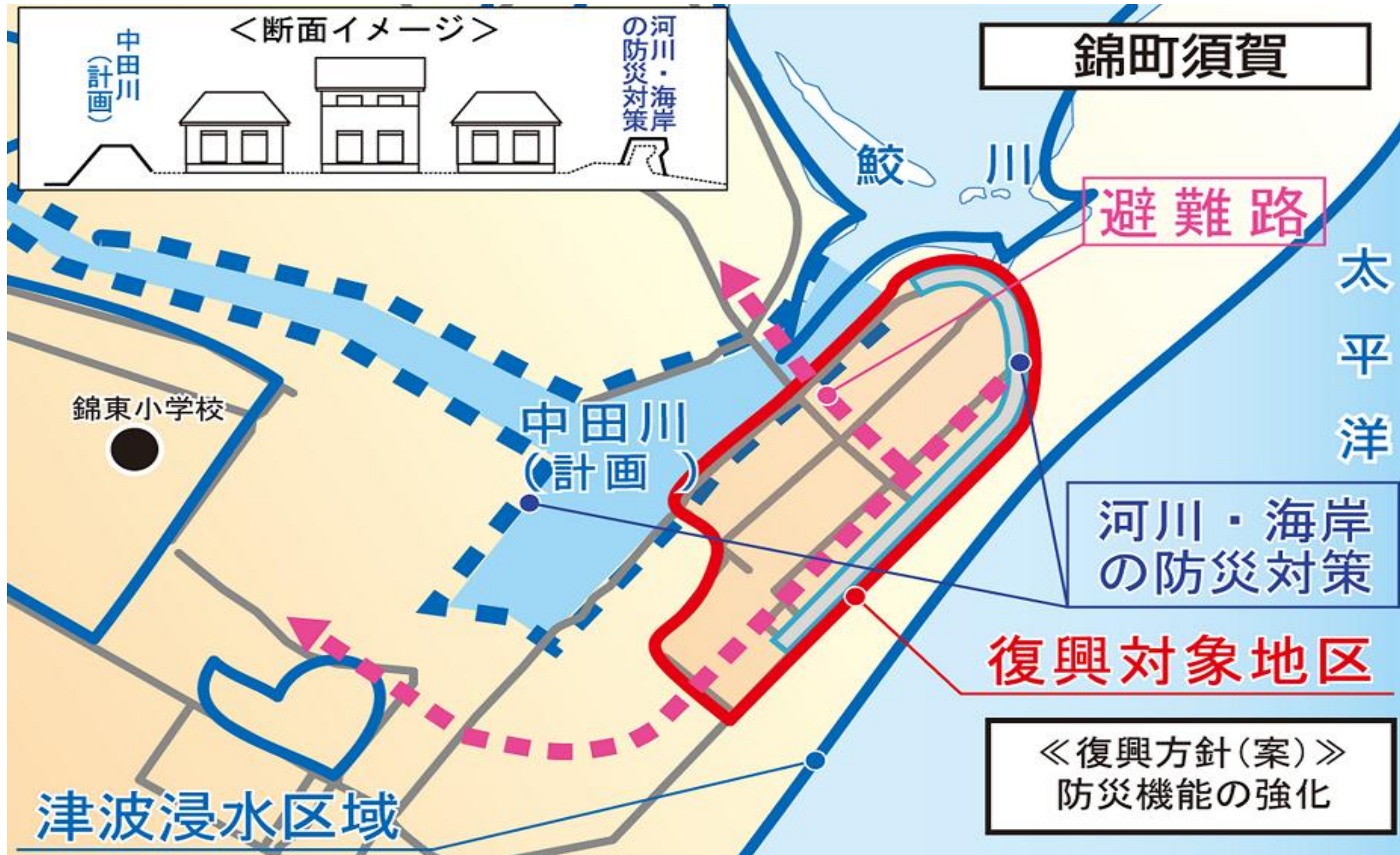
＜岩間地区復興イメージ(案)＞

- ・ 海岸に近い地区では、建物の被害程度が大きくなっていますが、海岸の整備に加え、県道泉・岩間・植田線を防災道路として整備するとともに、防災緑地を配置し、津波から既成市街地を防御します。
- ・ 既成市街地は避難路等、防災性を高める整備を検討します。
- ・ 防災道路、緑地として整備する区域に土地及び建物をお持ちの方や居住されている方は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。

【錦町須賀地区における復興イメージ図（一例）】

* 意向調査や事業手法の検討等を踏まえ、地域の皆様の復興に対する検討材料として作成したものです。

* 現時点で決定したものではありません。



＜錦町須賀地区復興イメージ(案)＞

- ・ 須賀地区では建物等の被害程度が大きくなっていますが、避難路の確保や河川・海岸の整備など「減災」の考え方に基づく防災対策を前提に、現在地における復興を検討します。
- ・ 移転を希望する世帯は、個別の移転か周辺地域への移転を検討します。